

## 新年のご挨拶

代表取締役CEO

西 勝康



新年明けましておめでとうございます。本年は弊社が平成十二年に新しく事業を開始いたしました。第二十年の節目を迎えることとなります。この間、介護保険事業を中核としてそれなりに高齢社会に向き合ってきました。今後更なる超高齢社会の難局が待ち構えているわけですが、介護問題をはじめ高齢者の住まいの問題等、なかなか低所得・低資産の高齢者の「安心な暮らし」の実現に微力ではありますが取り組んで参りたいと思います。その為にも弊社の理念「人を大切に」をモットーに弛まざる変革に勇気をもって挑んで参ります。平成から新しい元号に代わりますこの節目の年が皆様にとって明るい未来を照らす良き年となりますことをお祈り申し上げます。

## デイサービス八重桜本店

### 【若草中学校職場体験】十二月五・七日

今回若草中学校の生徒さんたちが十二月五日・十二月七日の二日間、職場体験に来て下さいました。最初は緊張していたのか、戸惑い気味：しかし、利用者様と話しているうちに緊張も解け始め、自然と素敵な笑顔がたくさん見られるようになっていきました。利用者様からも「孫が出来たみたいでうれしい」「若いねえー」などの声があり、また嬉しそうに手を握っている様子も見られました。歌や紙芝居なども披露してくださり、大盛り上がり。生徒さんは、どの仕事に就いても素敵な社会人になってほしいですね!!



### 【餅つき大会】十二月二十三日

八重桜、毎年恒例の餅つきを行いました!!縁起ものということもあり、利用者の方々にもついて頂きました。遠慮されていたご利用者も、職員がサポートすることで参加していただくことができました。できるだけご利用者に行っていたとき、ご自身で「作った」という体感をしていただけるように行いました。

「昔は近所の人や親戚の人と集まってついたわ」「私、丸めるのも得意なんよ」と皆さん、嬉しそうに思い出を話してくださいました。



### 【クリスマス会】十二月二十五日

毎年恒例のお楽しみ会のクリスマスパーティーです。二人羽織、牛乳含み笑い、ロシアンレット、たいたてかぶってジャンケンポン!を準備し、最初にユニークなサンタさんの登場で大盛り上がり。

どの出し物も去年に比べ面白さ倍増!! 沢山の利用者様の笑顔が見ることが出来ました。最後には皆さんお楽しみ会のクリスマスプレゼントに、クリスマスケーキ。嬉しそうに開けて身に着ける方や、「家に帰ってからの楽しみや」と開けずにそのまま持つて帰られる方も居られました。また来年も更に楽しいクリスマス会を皆様と過ごしたいものです。



皆で心を込めてついたつやつやもちもちのお餅。きなこや砂糖醤油につけて頬張ると、にっこり素敵な笑顔があふれていました!



## デイサービス八重桜 朱雀



### 【手作りおやつ】 十二月四日

毎回大好評の手作りおやつを開催させて頂きました。今回作ってもらったのは、中心にドーナツ状の穴があり断面に樹木の年輪のような同心円状の模様が浮き出たドイツのお菓子です。最近奈良県でも人氣が復活してきている「パウムクーヘン」です。八重桜朱雀館が作るパウムクーヘンはしっとりもちもちでした。その横に生クリームを添えさせて頂きました。味は甘すぎず、いくらでも食べられそうな感じでした。朱雀館でもパウムクーヘン人氣が復活してしまいました。

### 【朱花会 日本舞踊】 十二月十四日

日本舞踊はとても演劇性が高く、物語が伝わってきます。話の内容を考えながら、踊りを見てもらうより一層楽しいのではないのでしょうか。ということと、舞踊スタートです、着物を着た綺麗な女性が五人踊られ、普段と違う古き良き日本の空気を感じておられました。



### 【餅つき大会】 十二月二十四日

毎年恒例の餅つき大会です。餅つきの時期が来ると今年も終わるなという名残惜しい気持ちと、もつすべ新しい年がやってくるというドキドキした気持ちになります。今回は餅つきの経験のない若い職員が多く、人生の大先輩である利用者様が指導してくださり無事においしい餅をつくことができました。出来立ての熱々のお餅を女性のご利用者様を中心となり慣れた手つきで綺麗にお餅をまるめてくださいました。鏡餅も作りましたよ。ついたお餅はおやつ「おしるこ」にいれさせてもらいましたが、皆さん大変喜んでくださりお椀が一気に空になっていました。

## デイサービス八重桜 押熊



### 【習字教室】 十二月十三日

今年最後の習字教室です。お年を重ねてから字を書く機会が少なくなり、敬遠される方もおられますが、頑張ってお書かれています。右手の肘を背に脱臼されおせられず今まで過ごされている方も頑張ってお書かれています。書いてみると意外に皆さんお上手で、利用者様同士褒めあいながらワイワイ楽しみながら書いておられます。

### 【ウクレレ演奏でクリスマス】 十二月二十五日

職員によるウクレレ演奏で皆さんとクリスマスソング等を一緒に歌っています。曲目は、「ママがサンタにキスをした」「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」「きよしこの夜」「ジングルベル」「サンタが町にやってくる」「お正月」「世界の国からこんにちは」「いつでも夢を」「上を向いて歩こう」「見上げてごらん夜空の星を」などでした。普段は歌い慣れていないクリスマスソングは、皆さんには難しかったようですが、クリスマスの雰囲気が出ていました。歌い慣れている曲は皆さん声を出して歌われていました。



### 【餅つき】 十二月二十五日

餅つきは、職員がメインですが、杵を持つ利用者様には職員介助と一緒に餅つきをしています。その後、女性陣で丸め作業をして頂き、鏡餅を作っています。御利用者様は、お餅を召し上がることはできませんでしたが、おやつでは、しるこをお出しして中身は麩で召し上がられています。





## デイサービス八重桜 平城



〔安来節とマジックショー〕十二月七日

利用者様がよくご存知の歌で始まった今回の踊り。一曲目では鍋の蓋を、二曲目ではしゃもじをもつての軽快なリズムは圧巻でした。思わず利用者様の身体も自然に動いていました。次の出し物は手品です。手品には種があるのはわかっていますが、ついつい目を奪われてしまいます。

〔クリスマスパーティー〕十二月二十五日

平城館開設して初めてのクリスマスパーティーがクラッカーの音と共にシャンメリー（シャンパン風炭酸飲料）の乾杯から始まりました。まずは利用者様全員でクリスマス之歌を三曲全員で合唱、気分が高揚したところで、お待ちかねのビンゴゲームです。利用者様には職員のかん装サンタさんが運んでくれたプレゼントをゲットしてあちこちから歓声が上がっていました。次々と靴下や小物入れなどプレゼントに喜んでおられ、最後にクリスマスケーキとコーヒーなどの飲み物を頂いて童心に帰っておられました。これを糧にして来年はさらなる企画・演出を考えたいと思います。



〔お正月に向けて餅つき大会〕十二月二十八日

本格的にうす、杵を用意して平城館の餅つき大会を行いました。職員も全員法被姿で気合は十分、蒸したもち米をうすに入れて、利用者様全員の「ヨイショ！ヨイショ！」のかけ声に励まされ餅つきが始まりました。職員の力強い姿にあちこちから歓声が上がっていました。つきあがったお餅は利用者様が上手に丸めてくださいました。全員で作り上げたお餅です。三時のおやつに手作りぜんざいに入れて味わいました。その味はまさに格別でした。

## 望まれる高齢者住宅

高齢者住宅の整備が西欧諸国に比べて著しく遅れていることは国交省の調査研究で明らかです。その対策として過去数々あった高齢者住宅政策を整備スタートしたのが「サービス付き高齢者向け住宅（以下「サ高住」という）」です。本来独居高齢者等の受け皿として期待されていたものの厚労省との共管事業ということもあって、現状の大半のサ高住は介護施設化しています。サ高住にしても住宅型有料老人ホームにしても高齢者を対象とすれば一般のアパート経営者にはその運営ノウハウは無く、サブリース方式で介護事業者に委託するということになりました。当然介護事業者は要介護者の入居を進めることとなり、自立高齢者の入る余地は

## 桜の広場

少なくなる結果となります。今もこれからのような傾向で要介護者市場の拡大を考えれば当然のことではあります。ビジネスとして考えれば競争が厳しくなると予想すべきでしょう。しかし、弊社においては、それはそれで先発先行事業者としてのアドバンテージは充分にあると考えています。翻って要介護状態に至っていない

生活を希望する軽度要介護認定者の人達に向けた集合住宅の提案が極めて少ないように思います。現在、軽介護、要支援の人が入居を考えるのが一般的なサ高住や住宅型有料老人ホームですが、これらの大半は自立から要介護5まで混在するような入居方法を取っているため、建築設備等のハード面、日常生活上の種々な規則等の運営上のソフト面において中・重度向けの対応基準にならざるを得ず、比較的自立度の高い人にとっては快適な「住まい」とはなり得ないです。従って弊社としては、軽度要介護者に特化した「サ高住」の開発を進め、料金的には出来るだけ軽料金で快適な住まいを提供したいと考えています。このような民間の軽度特化型のサ高住は殆ど皆無で、行政の低所得者向けの軽費老人ホームも新たな整備は積極的に考えられていないことから、今後多くの低所得・低資産高齢者向けの住宅が民間主導で供給されることが必要になります。次号から弊社が計画している高齢者住宅についてお話をしたいと思います。

西 勝康

## 今月の名言格言

妻は、やさしくされることを望んでいるだけではない。やさしい心で理解されることを望んでいる。

瀬戸内寂聴



「介護職の仕事について九年目で思うこと…」

八重桜本店 坂口 貴幸



僕は介護がしたくて介護職に就こうと熱い思いがあつて就いた訳ではありませんでした。今から思えば年も若かったのもありますし世間知らずでした。介護職では八重桜本店での勤務が初めてで、それ以前は焼き鳥屋で働いていました。サービス業だったのでお客様対応は自信がりましたが、デイサービスのご利用者様となると認知症の方をはじめ、介護が必要な方々なので思っていたよりも大変に感じました。更衣介助、排泄介助といったことをすることが初めてで、ヘルパー2級の資格を八重桜で仕事をしながら取得しました。僕が八重桜本店で働き始めた頃は、取締役綾部本部長が本店施設長をされていた頃でした。現場に携わられることが多く、僕も厳しくご指導いただきました。厳しくて涙を流したこともありましたが、綾部本部長は忘れておられるみたいですが、でも、今の僕があるのは本部長のお陰であると感じています。というのも僕はこの八重桜を二度離れています。八重桜以外の介護施設を経験したく離れましたが、一回目で八重桜に戻りたいと思ひ戻らせていただいたのに二回目がありました。結局、二回目も八重桜が忘れられず気付けば綾部本部長に連絡を取りたいという気持ちでいっぱい、綾部本部長に会えそうなのを考えて行動をしていました。ある日、偶然を装って再会が出来て意思を伝えさせていただきました。

生まれ変わった今の僕と当時の僕と違う所は、結婚し念願の子どもを持つことが出来、責任を感じる男に成長したことです。それと自分の母がパーキンソン症候群と診断されたこと、先月に連絡がありました。自身の世帯があり一緒に暮らしていない母の世話を他人様にしていただかないといけなくなり、僕は母のことを思いながら母にしてあげられない介護を八重桜のご利用者様にさせていただこうと思います。

さて、介護職をこの八重桜本店でさせていただき、介護職に熱い思いがあり就いたわけではなかった僕が二度離れたが勤務年数トータル八年となりました。この先、株式会社八重桜から離れること無く、大きな夢として綾部本部長の右腕になるという思いを抱いて頑張りたいと思っておりますので、まだまだ未熟者ではございますが、見守っていただきたいと思ひます。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

長谷川 美紀 (俳句教室担当)

大根の ナスにはえる ゆずの皮

豊田 レイ子

綺麗ですよね!! 食べたくなりました

ごちそうは 何にも勝る 冬の鍋

塩谷 美代子

寒い季節の鍋は格別ですね! 食べ過ぎないようにね

想い出は 幼き頃の さんがにち

吉田 紗恵子

新年の思いでは、やはりお年玉ですね

うとうとと コタツの中で 出られない

藤原 加代子

足元がポカポカになれば気持ちが良くて自然にうとうとですね

クリスマス 今年に孫に 何あげよ

野崎 絹子

お孫さんにあげるプレゼント選びもまた楽しみですね

ゆず風呂で 心身ともに リラックス

田中 鶴太郎

何時になつても柚子風呂は、お肌がスベスベになつてとても気持ちが良いですね

大晦日 ダンナ活躍 大掃除

西岡 裕

大掃除といえば男性の出番ですね!! 頑張ってくださいね

除夜の鐘 ついて鳴らせよ 年の瀬に

明星 朋子

十二月に入るとあつたう間に年越しですね。素敵な鐘の音連想されます

餅つきや 今年も美味しく 雪持ちを

丸谷 正子

ふんわり真つ白なお餅が頭に浮かびますね

社員忘年会

十二月十一日



職員とその家族が参加する今年の八重桜忘年会を、ファミリーモア八重桜 平城館で開催いたしました。平城館は、八重桜の一番新しい建物なのでほかの施設職員も明るく広い建物に興味津々でした。玄関を入つてまず目に入るのは食堂越しに見える庭園の鮮やかなイルミネーションです。職員の子どもたちも大変喜んでいました。

沢山の料理が並ぶなか、和やかに会は始まり最初こそ静かだった会場も次第に話が進みあちこちで和やかな声があつていきました。子どもも参加したゲーム

でも大盛り上がり、職員同士の間もいつそう強まった忘年会となりました。最後に来年もこのチームワークをもつて利用者様のために更に頑張ろうと誓い合いました。

とても楽しい意義のある時間を過ごせてよかったです。